



精魂込めて

～ 一学期 終業式 式辞 ～

今月七日、全国高等学校野球選手権 愛媛大会の開会式が行われました。そして、今治西高等学校 野球部主将、原田 想さんが、選手宣誓の始めにこう語っています。「私たちは、高校野球を愛しています。」 私はその言葉を聞いて、心を動かされました。何故ならそれは、好きですではなく「愛しています」とまで胸を張って言えるようになるまでには、大変な体験をたくさん乗り越えてきたのであろうと想像できたからです。

原田主将は、球場に響く大歓声や三振を奪ったときの喜び、そして仲間と謳う勝利の校歌のことなど、高校野球の魅力について続けました。また、その一方で、思い通りになることばかりではなく、逃げ出したくなることもあったとも話していました。

好きなことへ打ち込んでいるからと言っても、楽しいことばかりではありません。勝った日だけではなく、負けた日もある。うまくいく日だけではなく、思い通りにならず悔しさに涙する日もある。それでも、仲間と励まし合い、支え合いながら努力を続け、自分たちの目標である甲子園をめざし続けてきたのです。そして、主将は、次の言葉で締めくくります。「私たちは、やっぱり高校野球を愛しています。」 逃げ出したくなることもあった、でも歩みを止めなかった。「愛しています」という、この言葉には重みがあるのです。

好きだから頑張れる。好きだから乗り越えられる。しかし、私は、本当に好きなことこそ、最後までやり抜くのは簡単なことではないとも思うのです。始めは好きと思って挑戦しても、途中でうまくいかず、協力もできず、乗り越えられないということは、残念ながらよくあります。しかし、だからこそ、川之江南中学校の皆さんに、いろいろな経験をやり抜き、乗り越えて、「私は、川之江南中学校を愛しています。」と、胸を張るように成長してほしいと思っています。そして、いつの日か、その言葉を皆さんから聞ける日がやってくることを楽しみにしています。

皆さんには、一学期、もう乗り越えられないと思ったことがあったのではないのでしょうか。テストの結果に落ち込んだ。部活動で思うような成果が出せなかった。友だちとの関係に悩んだ。自分に自信が持てなくなった。しかし、だからこそ、今日は一学期を無事に乗り越えられたことや、自分の頑張りを振り返り、かみしめてほしいと思います。そして、共に生き合った人たちへの感謝の気持ちも大切にしてほしいと思います。

明日から始まる夏休みは、自分の好きなことを始めたり、じっくりと取り組んだりすることができます。部活動や地域のクラブチーム活動に励む人。勉強に力を入れる人。どんなことでも、真剣に最後までやり抜くのは簡単なことではないのですが、ぜひ、夏休みの終わりに、頑張ったよかったと思えるようになってください。

やり抜くこと、乗り越えることは簡単ではありません。しかし、自分で決めたことに真剣に向き合い続けた経験は、自分を成長させ、仲間や学校を大切にすることを育てます。この夏休み、一人ひとりが自分の目標に挑戦し、大きく成長していくことを願っています。そしていつの日か、「私は、やっぱり川之江南中学校を愛しています。」と胸を張って言える皆さんになってください。夏休み、そして二学期も、共に生き合い、いのちを輝かせていきましょう。